

製品名: CD360 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82125**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	59.1kDa

抗原情報

遺伝子名	CD360
別名	IL21R; NILR; IMD56
遺伝子 ID	50615.0
SwissProt ID	Q9HBE5
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD360 (AA: 追加 20-232) の精製された組み換え断片。

背景

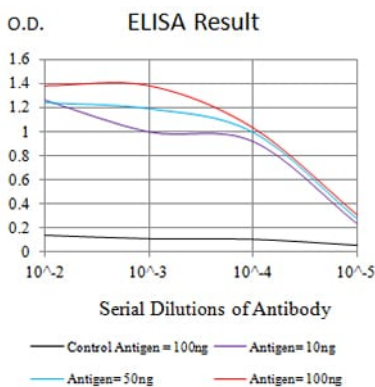
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン 21 (IL21) のサイトカイン受容体である。これは I 型サイトカイン受容体に属し、インターロイキン 2、4、7、9、および 15 の受容体にも共有される受容体サブユニットである共通ガンマ鎖とヘテ

ロ二量体受容体複合体を形成することが示されている。この受容体は IL21 の増殖促進シグナルを伝達し、T 細胞、B 細胞、およびナチュラルキラー (NK) 細胞の増殖と分化に重要である。この受容体へのリガンド結合は、JAK1、JAK3、STAT1、および STAT3 を含む複数の下流シグナル伝達分子の活性化につながる。マウスにおける類似遺伝子のノックアウト研究は、この遺伝子が免疫グロブリン産生の調節に関与していることを示唆している。選択的スプライシングを受けた3つの転写バリエーションが報告されている。

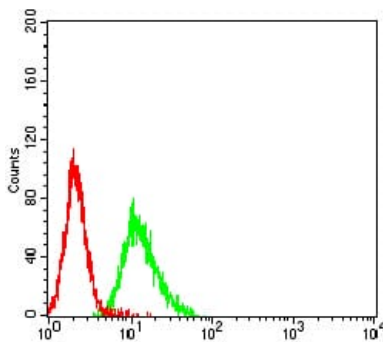
研究分野

Jak-STAT シグナル伝達経路

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD360 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。